

何が変わり、 何を变えるか？

コロナ禍で見えてきた課題を
グローバルに議論する



新型コロナウイルス感染症の流行開始から約1年——。未知の感染症がもたらした生活様式の変容は、経済活動にも大きな影響を及ぼしています。今回のシンポジウムでは、産官学金それぞれの視点からコロナ禍で明らかになりつつある地域社会の諸課題を議論します。何が変わり、何を变えなければならないのか。今後の社会システムのあり方を展望します。

2021 **01/25**月 13:00-15:50
(入場開始12:45)

オンライン (Zoomウェビナー)
参加無料 | 事前申込制 | 定員500名

■ プログラム

13:00 開会挨拶 中本 悟 (立命館大学社会システム研究所 所長 / 経済学部 教授)

第1部

13:05



「価値創造」から見える今後のグローバル経済

青木 理氏 (株式会社アオキ 代表取締役社長)

13:30



コロナ禍における市内の経済・まちづくり

藤田 雅也氏 (草津市環境経済部 部長)

13:55 休憩

14:00



Sustainability Design Company

～持続可能な社会の実現を目指して～

片岡 一明氏 (株式会社滋賀銀行 草津支店長)

14:25



コロナ禍で広がる格差 ～地域経済の課題は何か～

松本 朗 (立命館大学 経済学部 教授)

14:50 休憩

第2部

15:00 パネルディスカッション

パネリスト…………… 青木 理氏、藤田 雅也氏、片岡 一明氏、松本 朗

ファシリテーター…………… 中本 悟

15:50 閉会挨拶 谷垣 和則 (立命館大学社会システム研究所 副所長 / 食マネジメント学部 教授)

※プログラムは予告なく変更となる場合がございます。

お申し込み

参加ご希望の方はWEB申込フォームにて
ご登録をお願い致します。
登録後、Zoomよりメールをお送りします。

立命館 社会システム研究所

検索



R RITSUMEIKAN
UNIVERSITY